

# ほつ。とエピソード vol.7



## ～ある職場の、本当の話～

「仕事ってなんだろう?」  
今回は福島市にある事務用文房具  
やオフィス機器を扱うP社さんを紹  
介します。Sさんが長く考えて「これ  
だ!仕事ってなんだろう?」というお  
話です。

福島市にある事務用文房具やオフィ  
ス機器を扱うP社。ここでは毎週水曜  
の朝礼後に会社周辺地域の清掃活動  
を行なっています。3年以上続くこの  
活動。始めた当初、企画されたSさん  
は「仕事ってなんだろう?」と考えな  
がら清掃活動を行なっていたそうです。

仕事というのが、「世の中の役に立  
つもの」とすれば地域の清掃活動を営  
業時間中ずっと続けていたほうが良い  
のではないかと。しかし、それでは売上げ  
が無くなり社員の皆さんを幸せにする  
ことはできない。かといって、お金さえ稼  
げればそれでいいというものでもない。

Sさんにとって清掃活動の時間は地  
域をきれいにするだけでなく、次の問  
いについて考える時間でもありました。

「仕事ってなんだろう?」  
答えの出ないまま、清掃活動は2年  
以上続きました。

そんなある日のことです。会社に市  
から「表彰状を贈りたい」という連絡  
が入りました。P社の清掃活動に地域  
の方が感動し、町内会を通じて市に報  
告があったというのです。市でも継続し

て続けた取り組みを高く評価。表彰  
状を贈り活動をたたえようということ  
になったのです。

Sさんはの申し出をありがたく思  
いつつも、断るつもりでした。

「掃除をするには、別に賞をいただ  
くような特別なことではない。」

しかし、P社の社員たちは「賞状を  
もらえばいいんじゃないですか?」と全  
員でSさんに伝えたそうです。

「私たちの活動を評価してくれる人  
がいる。この賞は、私ひとりでもらう  
のではなく、私たちみんなでいただ  
いた賞なんだ。」

Sさんは、職場の仲間といっしょに取  
り組んできたからこそ、周囲からの評  
価をいただいたと気がつき、みんなを代  
表して、市から賞状を受け取りました。

P社では清掃活動と同時期から社  
外通信の発行も始めています。

この社外通信は、社員の休日の過  
ごし方など、仕事のことだけではなく社員の  
顔がよく見えるユニークな広報誌です。

「通信を見たよ」とお電話をいただ  
くことも多く、社内では、周りの人た  
ちが自分たちのことをしっかりと見てい  
てくれていることを実感できるようにな  
りました。

普段の仕事以外のことでも  
評価されたり喜んでいただけることが、  
心の栄養になっているといいます。「心  
が育つことで仕事も丁寧になっていま  
す」とSさん。

さらに社外ではお客様との付き合い  
方が変わってきたそうです。これまでは  
ただの取引先としかお互いに思えなかつ  
た関係。これが、仕事場以外の違う一  
面を知っていただくことで、ビジネスだ  
けのお付き合いではなく、人と人として  
お付き合いが出来るようになりました。

一方でもちろん、家族や自分自身  
の生活を支えるために利益を上げるこ  
とも仕事においては重要です。みんな  
がマザーテレサになることは出来ない。  
それぞれがもつ家族を大切にするため  
に、会社に利益をあげることを忘れて  
はならないとSさんは言います。

この売上げや利益において、Sさんは  
近江商人の考え方を大切にしています。

近江商人は、売上高を「奉仕高」  
とみています。売上げだけを伸ばす方  
法はいたって簡単で、他よりも安く売  
れば良い。しかし、ただ価格を安くす  
る奉仕だけでは利益は生まれません。

粗利益は満足高。原価以上の価格を  
設定し、粗利益を得るためには、お客様  
に満足して頂くことが必要となります。

そして、粗利益から人件費やあらゆる  
会社活動の経費を差し引いた残りが  
利益。利益は「感謝高」です。お客様に  
満足だけではなく、買ってよかったと感  
謝され喜ばれる仕事が必要となります。

ただ単に安く売るのではなく、お客  
様のことを思い「ありがとう」と言わ  
れる感謝高を求めて仕事をします。

Sさんはこのような「美しい商い」  
を目指しています。

『事柄の時代ではなく人柄の時代』  
へと変化をしていること。職場の仲間  
と働くことで、そのことに気づくことが  
でき、自分が一番成長させていただ  
いているかもしれないとSさん。

物があふれている現代。その中で物  
だけ売る「仕事」をしていて良いの  
だろうか。今の人々はその豊かさを享  
受する一方で、一種の罪悪感をもつて  
いるのではないかとSさんは考えていま  
す。そんな罪悪感を払拭する仕事を  
するために、商いの本質を見つめなお  
すためにも、自分自身にこの問いを投  
げかけてみましょう。

「仕事ってなんだろう?」



Sさんの働くお店紹介  
ばるる 福島市八木田字中島二二二  
tel 〇二四一五四五二六六  
HP <http://www.purun.co.jp/>



採用と教育  
(社員教育・経営支援事業)  
代表 半田 真仁

広島県出身。商事会社に在職中、日本キャリア開発  
協会認証のキャリアカウンセラー試験に合格、精神保  
健福祉士の資格も得た。2年間、福島県の若者自立  
相談員、就職サポートセンター特別職業相談員を務め、  
その後「採用と教育」を設立。組織活性化アドバイザー  
として、多くの医療・福祉施設の活性化に携わっている。

◆URL <http://www.saiyoutokyouiku.com/>